



Harmony among People,
Technology, and Environment.

株主の皆様へ

第87期 営業のご報告

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

CONTENTS

企業理念	1
トップメッセージ	1
連結財務ハイライト	1
事業別の概況	4
連結財務諸表	5
会社情報	6



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097



高圧ガス工業グループ 企業理念

1. 「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」という理念のもと、「創業の精神を忘れずに、アセチレンバウム（アセチレンの樹）の夢を追い求めて、限りない可能性の炎を燃やし続ける」グループ企業をめざします。
2. 「株主」及び「取引先」各位ならびに「従業員」を三位一体と考え、公正妥当な倫理基準に基づいた事業活動を通じて、社会に貢献できる経営を行ないます。
3. 全般的な経営の効率化を地道に推進し、企業体質の健全性を維持しながら、企業価値を高め、事業規模の拡大をはかります。
4. 「安全・安心をすべての基本姿勢」とし、創業以来一貫して、この姿勢を貫いております。
5. 「地域に密着した企業ブランド」を構築し、存在感のあるグループ企業をめざします。

この企業理念は、高圧ガス工業グループ企業共通の認識であり、全社一丸となって実現に努めてまいります。

トップメッセージ



取締役社長

澁谷 信雄

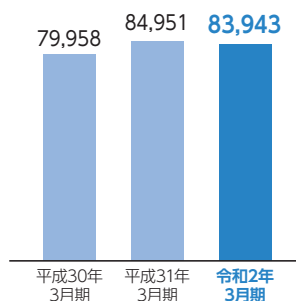
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により罹患された皆様に心からお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止に尽力されている医療関係者をはじめとする多くの皆様に心から敬意を表します。

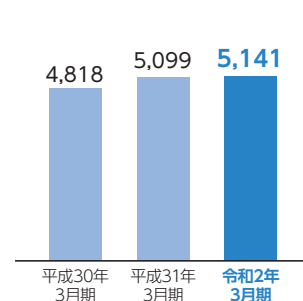
当社グループの第87期（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

連結財務ハイライト

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



令和2年3月期の業績概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調がみられたものの、長期化する米中貿易摩擦など不安定な国際情勢の影響による外需の低迷に加え、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により経済活動が制限されるなど、極めて先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなかで、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、安定的な収益確保に向けた販売体制の強化や生産体制の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は839億43百万円(前期比1.1%減少)、営業利益は51億41百万円(前期比0.8%増加)、経常利益は58億28百万円(前期比0.8%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は38億5百万円(前期比9.0%増加)となりました。

次期の見通しと今後の取り組みについて

今後のわが国経済は、米中貿易摩擦に加え、新型コロナウ

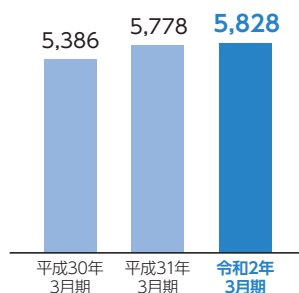
イルス感染症の拡大に伴う世界的な経済活動の大幅な停滞により、国内景気の悪化が懸念される不透明な状況が続くものと思われま。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための適切な対応をとりながら、中期経営計画「チェンジ&チャレンジ'20」に掲げた目標に向かって、労働環境の整備、人材育成による経営基盤の強化、内部統制体制の充実をはかるなど企業価値の向上に努めてまいります。

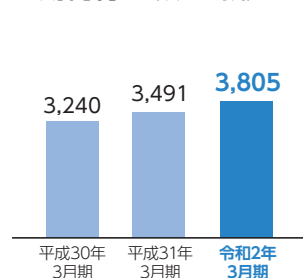
また、緊急時の事業の継続・早期復旧をはかるための生産・供給体制の構築を進めてまいります。

ガス事業は、ユーザー層の変化に対応すべく、当社グループ各社との連携を一層深めながら、地域に密着した営業展開によりシリンドーガスビジネスのさらなる収益力の強化をはかるとともに、事業場の新設や統合、改修、新規設備の導入など、安定供給及び物流の合理化を進めてまいります。また、積極的なM&A、真空浸炭向け溶解アセチレン、エアゾール用ガス、農業用炭酸ガスの新規需要先の獲得など、新しい用途やアプリケーションの提案を行なってまいります。土浦研究所では、水素蓄圧器などの各種容器の開発、カーボンナ

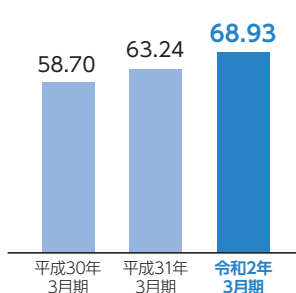
経常利益 (単位:百万円)



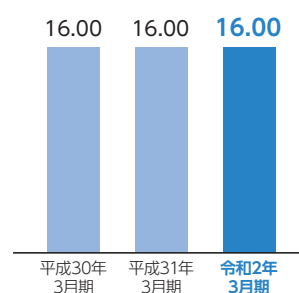
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



1株当たり配当金 (単位:円)



ノチューブや難燃剤等、付加価値の高い製品の市場投入を目指してまいります。

化成事業は、IT化による業務の効率化、原料・製品在庫の最適化、容器管理、製造・物流の合理化を行ない、収益力の強化と安定供給の確保をはかるとともに、品質面では、研究開発、営業開発に力を入れ、環境にやさしい製品の提供に努めてまいります。国内接着剤市場においては、住宅設備、自動車、弱電、医療分野へ積極的に新製品を投入し、新たな用途の創出をはかるとともに、当社グループのネットワークを活かし、新規ユーザーの開拓を行なってまいります。また、雨音、振動を低減させる効果のある制振材「サウンドプルーフ」を公共の施設をはじめ、遮音性が求められる建物向けに建材用途として拡販してまいります。塗料市場においては、既存住宅の改修需要に対応した、外壁サイディングボード用の「WBアートSi」・「ウォールバリアシリーズ」・「ビーズコート」、屋根用の「ルーフバリア」の拡販を推し進めるとともに、ユーザーニーズに合った製品の開発を進めてまいります。海外市場においては、ベトナム工場を製造・営業の拠点として活用し、中国・東南アジアへの市場開拓を進めてまいります。

その他事業は、ITソリューション事業において、鉄道業界、産業機器業界を主な営業対象とし、電子ペーパー表示機、無線機能を搭載したLSIカード及び画像記録装置等のさらなる拡販を進めてまいりますとともに、IoT分野への企画・提案を積極的に行ない、新規開拓をはかってまいります。また、食品添加物事業では、食品業界に限らず、他の幅広い業界との協業により新たな価値を創出し拡販してまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため未定とし、今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

株主還元について

株主還元につきましては、株主様に対する安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、内部留保の充実により企業体質を強化し、長期的に企業価値の向上をはかるとを基本方針とし、経営成績・財務状況・今後の事業展開などを総合的に勘案し決定しております。

当期の期末配当金につきましては、1株につき普通配当金8円とさせていただきます。

令和元年12月10日に1株につき金8円を中間配当金としてお支払いしておりますので、1株につき年間合計16円となります。

今後も株主様への安定的かつ継続的な利益還元に努めてまいります。

なお、令和3年3月期の配当予想につきましては、現段階では未定とし、業績予想の算定が可能となり次第、速やかに公表いたします。

株主の皆様へ

当社グループといたしましては、引き続き「安全」・「安心」をすべての基本姿勢として、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を構築し、既存事業の拡充と新たな価値の創出に積極的に取り組むとともに、社員一人ひとりが成長できるための企業風土の醸成ならびに組織体制の整備に努めながら、中長期ビジョンの実現を目指してまいります。

また、企業理念、企業倫理行動指針に基づいたコーポレート・ガバナンス体制の整備と強化に真摯に取り組んでまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年6月

事業別の概況



ガス事業

売上高 **630**億**13**百万円
営業利益 **51**億**29**百万円



売上高 (単位:百万円)
令和2年3月期 **63,013**
平成31年3月期 64,180

営業利益 (単位:百万円)
令和2年3月期 **5,129**
平成31年3月期 5,001

ガス事業では、シリンダーガスビジネスの収益力強化のため、積極的な投資を行ない、生産体制の合理化を進め、地域に密着した営業を展開してまいりました。

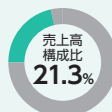
『溶解アセチレン』は、建設、土木など現場工事向け需要が減少したものの、新規需要先の獲得や価格改定の効果もあり、売上高は前期を上回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、冷媒用ガス、エアゾール用ガスが新規需要先の獲得により増加したものの、酸素が現場工事向け需要の減少、炭酸ガスが原料ソースの減少、また、LPガス等の石油系ガスが輸入価格の下落に伴う販売価格の低下により、売上高は前期を下回りました。『溶接溶断関連機器』は、工作機械や溶接ロボット等の受注が減少し、売上高は前期を下回りました。『容器』は、消火装置向け容器が増加し、売上高は前期を上回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は630億13百万円(前期比1.8%減少)となりました。営業利益は、51億29百万円(前期比2.5%増加)となりました。



化成品事業

売上高 **178**億**72**百万円
営業利益 **13**億**16**百万円



売上高 (単位:百万円)
令和2年3月期 **17,872**
平成31年3月期 17,577

営業利益 (単位:百万円)
令和2年3月期 **1,316**
平成31年3月期 1,111

化成品事業では、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品やユーザーニーズに合った付加価値の高い製品の開発を行ない、国内はもとより海外にも積極的な事業展開を進めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールの粘着用が、需要低迷により減少したものの、紙用、土木用、繊維用の需要が、国内・海外向けともに伸長し、その他新規開発の自動車シート用の需要も増加、また、シアノンが、海外での一般消費者向けの需要が減少したものの、医療用などの高付加価値品が増加し、ペガールを原料とした塗料、コーティング剤などの販売が増加したことにより、売上高は前期を上回りました。『塗料』は、建築用塗料が、改修工事向け「ウォールバリアシリーズ」、[ビーズコートシリーズ]などの高機能・高付加価値品の伸長により増加し、エアゾール製品が減少したものの、売上高は前期を上回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は178億72百万円(前期比1.6%増加)となりました。営業利益は、13億16百万円(前期比18.4%増加)となりました。



その他事業

売上高 **30**億**57**百万円
営業利益 **6**百万円



売上高 (単位:百万円)
令和2年3月期 **3,057**
平成31年3月期 3,193

営業利益 (単位:百万円)
令和2年3月期 **6**
平成31年3月期 119

その他事業は、食品添加物が増加したものの、国内、海外向けLSIカード関連や海外向け光学機器の需要が減少したことにより、売上高は30億57百万円(前期比4.2%減少)、営業利益は6百万円(前期比94.6%減少)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	第86期 (平成31年3月31日現在)	第87期 (令和2年3月31日現在)	増減額
流動資産	51,021	50,022	△ 998
固定資産	37,071	37,470	398
流動負債	25,619	23,442	△ 2,177
固定負債	5,441	5,220	△ 221
純資産	57,031	58,829	1,798
総資産	88,092	87,492	△ 600

連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第86期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	第87期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	増減額
売上高	84,951	83,943	△ 1,008
営業利益	5,099	5,141	41
経常利益	5,778	5,828	50
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,491	3,805	314
1株当たり当期純利益	63円24銭	68円93銭	5円69銭

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位:百万円)

	第86期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	第87期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	5,992	5,159	△ 832
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,264	△ 4,339	△ 1,074
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,025	△ 1,003	21
現金及び現金同等物 の期末残高	20,925	20,737	△ 188

期末配当

期末配当金は当社普通株式1株につき金8円となりました。

期末配当金 1株につき金8円 総額441,635,608円

支払開始日 令和2年6月26日

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社情報

会社概要 (令和2年3月31日現在)

商号	高压ガス工業株式会社
設立	昭和33年6月26日
資本金	28億85百万円
従業員	856名
本社	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570(代表)
東京事務所	東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03(3595)3128(代表)
営業所	21カ所
出張所	4カ所
工場	15カ所(ガス事業) 3カ所(化成品事業)
研究所	2カ所

役員 (令和2年6月25日現在)

取締役

代表取締役 取締役会長	竹内 弘幸		
代表取締役 取締役社長	澁谷 信雄		
専務取締役	説田 和洋	黒木 幹也	
常務取締役	杉岡 孝雄	森本 孝	森田 和博
取締役	池田 佳弘	吉高 紳介*	笹野 哲郎*
	山村 忠夫*	※社外取締役	

監査役

常勤監査役	松井 良祐		
監査役	狩野 仁*	山崎 勇*	長島 広明*
	※社外監査役		

執行役員

常務執行役員	福井 正郎		
執行役員	大北 隆行	荒木 淳支	片岡 一夫
	平田 恭清	玉野 光樹	磯田 光功
	野杵 達也	津崎 幸一	加藤 尊康
	中村 顕		

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

株式の状況 (令和2年3月31日現在)

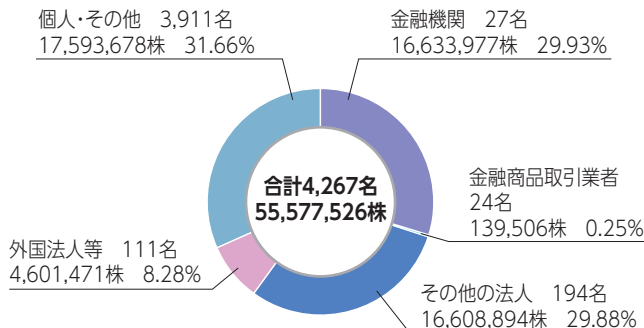
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	55,577,526株
株主数	4,267名(前期末比127名増加)

大株主 (令和2年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
デンカ株式会社	6,906	12.51
こうあつ共栄会	6,873	12.45
共栄火災海上保険株式会社	4,003	7.25
大陽日酸株式会社	3,142	5.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,717	4.92
株式会社三菱UFJ銀行	2,471	4.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,645	2.98
高压ガス社員持株会	1,584	2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,437	2.60
北陸工業瓦斯株式会社	886	1.60

(注) 持株比率は、自己株式(373,075株)を控除して算出しています。

所有者別株式分布状況 (令和2年3月31日現在)



株主メモ

事業年度末日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会基準日 毎年3月31日
剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
上場証券取引所 東京市場第1部
1単元の株式の数 100株
株主名簿管理人
(特別口座管理機関) 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引先の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>から取り出し、請求することができます。

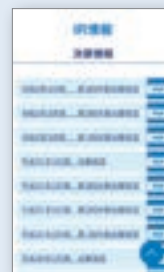
公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL
<https://www.koatsugas.co.jp/>

ホームページリニューアルのお知らせ

このたび、ホームページをより使いやすく快適にご利用いただけるようにリニューアルいたしました。当ホームページは、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけるレスポンスデザインとなっております。今後も、内容の充実をはかりながら、最新の情報を発信してまいります。



<https://www.koatsugas.co.jp/>



高圧ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)
電話 06(7711)2570(代表)
<https://www.koatsugas.co.jp/>

